

武家の身代

ごあんない

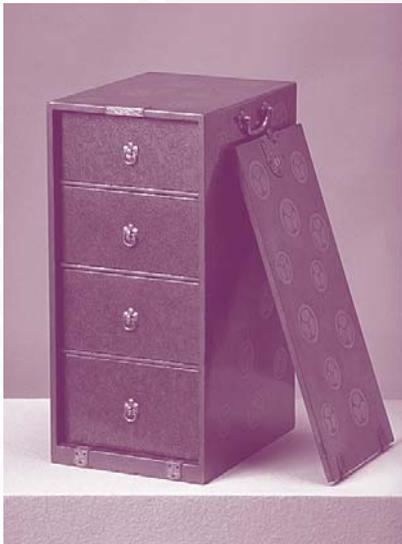
戦国時代が終わり、江戸時代になると新しい政治制度のもと、社会の仕組みが整えられ、経済の進展や新たな生活文化の開花を迎えます。

本展示では、武家で使用されたさまざまな生活用具をご覧いただくとともに、生活の一部でもあった武芸に係る資料も展示し、「天下泰平の世」の武家の暮らしについて紹介します。

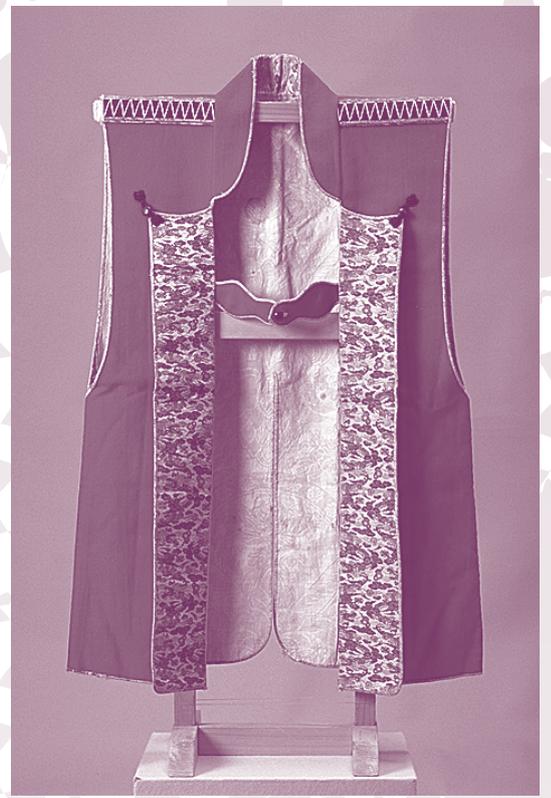
また、当時の庶民や武士の姿を生き生きと描いた菱川師宣筆「江戸風俗図屏風（複製）」も併せて展示します。



きりがねらでんつたのはもんくろうるしめりくら
切金螺鈿鳥葉文黒漆塗鞍（江戸時代）



きんなしじあおいもんちらし
金梨地葵紋散本箱（江戸時代）



陣羽織（江戸時代）



こいとおどしほとけどくそく
紺糸威仏胴具足（江戸時代）

展示の構成

- ①江戸時代の風俗
- ②武家の生活用具
- ③武芸と武具

〈その他のおもな展示資料〉

- ◆三ツ扇紋付袴 ◆小紋小袖 ◆硯箱
- ◆城内献立図 ◆葵紋付衣装箱
- ◆金時絵碁盤 ◆刀（伝青江貞次） ◆鐙
- ◆刀（越前守助広） ◆刀（水心子正秀）
- ◆薙刀（越中守正俊）